

産学イノベーション支援センター NEWS

CONTENTS

- <トピックス>
新企画について
- 施設紹介
- 新メンバー紹介と挨拶
- 公募情報

● 連絡先 ● 宇都宮大学 産学イノベーション支援センター

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7丁目1番2号 TEL:028-689-6316 FAX:028-689-6320
E-mail sangaku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp URL http://www.sangaku.utsunomiya-u.ac.jp

● <トピックス> シーズとニーズの出会いを求めて ●

産学イノベーション支援センターの新しい取り組み

宇都宮大学では、産学官金・地域の連携を推進するため、様々な活動を行っています。今年度は、この活動をより一層推進するために、新たな企画を計画しました。9月に実施しました第1回宇都宮大学コラボレーション・フェアの開催報告に加え、秋以降に予定しているオープンラボについてご紹介させていただきます。

大学と地域の皆様との新たな繋がりを創り出したいと考えていますので、よろしくお願ひ致します。

【新企画】オープンラボ（本学研究施設・研究室の公開と交流）

産学交流振興会会員企業の皆様に本学の研究活動をご紹介するため、本年度は3回のオープンラボを企画しています。対象施設は、先端計測分析部門、バイオサイエンス教育研究センター、オプティクス教育研究センターが候補となります。施設をご見学いただくだけでなく、質疑応答など双方向の情報交換を行うことで、会員企業様との連携を深めるものとなるように心掛けて進めてまいります。

・第1回のご案内（2019年11月8日（金）16:00～17:30）

産学イノベーション支援センター・先端計測分析部門をご見学いただきます。“何ができるか、何がわかるか”を中心に、実施例を織込み、所有する装置の概要や活用方法をご説明し、施設をご見学いただきます。

（藤井サイエンスディレクター）

【新企画】宇都宮大学 コラボレーション・フェア（開催報告）

9月9日（月）、第1回宇都宮大学コラボレーション・フェアを実施しました。新たな観点から大学の研究を見て頂こうと企画しました。

○講演会：宇都宮大学からの先生6名に加え、企業から（株）青木製作所様にご講演頂きました。

○ポスター発表は、SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた観点で行い、また展示もSDGsの内容に分けて分類しました。

グループ1：人間としての基本的な生活を維持するための目標4テーマ。

グループ2：人々の生活の質を向上させるための目標18テーマ。

グループ3：地球環境を保全するための目標5テーマ。

グループ4：複数のグループの目標にまたがるもの11テーマ。

また産学交流振興会会員企業との共同研究を中心に、産学連携事例として9テーマの発表も行われました。

■協力高等専門学校／大学 13テーマ

小山工業高等専門学校、帝京大学、芝浦工業大学、足利大学

■栃木県関連、県内企業、産学連携事例など 33テーマ

栃木県農政部、栃木県産業技術センター、栃木県企業、産学連携

■産学連携支援機関コーナー 4テーマ

■参加者数：348名

（濱地コーディネーター）



ポスター会場全景



ポスター説明

講演会

● 施設紹介 ●

松本部門長（産学イノベーション支援センター 先端計測分析部門）

宇都宮大学の教育研究に必要とされる「分析機器」には大型かつ高価なものが多く、教員個人での購入や管理は必ずしも容易ではありません。そこで「宇都宮大学」全体としてこれらの機器を導入・保有し、本学に所属する教職員・学生全員で利用（共用）できるよう、その環境を整え提供することが当部門のミッションです。当部門では「全学共用設備」と称される20台以上の分析機器を保有し、これらを一元的に維持・管理（整備、修理、メンテナンス等）・運用（利用時間管理、料金徴収、利用者講習等）することで宇都宮大学の教育研究を支援しています。また民間企業をはじめとする学外に対して、これらの分析機器を利用した「受託分析サービス」も提供しており、本学の地域貢献や産学連携を推進しています。加えて、設備の共用化を推進することによる「分析機器の充実化」にも主導的に取り組んでいます。これらの成果として、本年度新たに加わった当部門保有の全学共用設備の一部を以下にご紹介いたします。

【新規導入】連続光源原子吸光分析装置（アナリティクイエナ contrAA800D）

世界で唯一の連続光を光源とする原子吸光分析装置であり、複数元素の同時測定に対応できる画期的な装置です。検出器にCCDを採用することで、高い感度と分解能を実現します。また固体試料の分析に対応し、酸溶解等の事前処理を行うことなく生体試料や食品試料の直接分析が可能です。



【既存設備更新】ICP 発光分析装置（アナリティクイエナ PQ9000）

検出器に量子効率に優れたCCDを採用し、ppbレベルの超微量元素の検出・定量が可能です。またラジアル測定とアキシアル測定を併用することで、高い感度とダイナミックレンジを両立できます。測定波長域は900nmまでをカバーしており、例えば、セシウム（894 nm）の高感度測定が可能です。



【共用化（農学部より移管）】高分解能質量分析装置

（エービー・サイエックス TripleTOF 5600+）

高速スキャン、高分解測定が可能なMS本体にフロントエンドにUPLCを備えたLC-MSシステムです。イオン源はESIとAPCIを使用することができ、オミクス解析のみならず合成化合物等の精密質量分析にも適しています。



●第1回オープンラボ（2019年11月8日（金）16:00～17:30）で、当部門をご見学いただきます。

● 新メンバー紹介と挨拶 ●

下山URA（リサーチ・アドミニストレーター）

本年4月に赴任しました下山です。私は、高校から大学院までプラナリアの研究をやってきました。ポストクや科学教育、中高校生の研究支援や、高校教員への研究の指導も経験したことで、様々な研究に関わることでできる研究支援に興味を持ちました。宇都宮大学赴任後は、URAとして研究活動の企画・マネジメント、研究成果の活用促進活動に携わり、研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化に取り組んでいます。よろしくお願いいたします。



● 公募情報 ●

- 産学交流振興会 共同研究助成（募集中：～10月末）
 - ・宇都宮大学との共同研究への支援。 <http://www.sangaku.utsunomiya-u.ac.jp/shinkoukai.html>
- 経産省 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）（目安：1月末～4月末）
 - ・特定ものづくり基盤技術（12分野）の高度化につながる取組を支援。
<http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/index.html>
- 農水省 イノベーション創出強化研究推進事業（目安：1月中旬～2月中旬）
 - ・革新的技術開発を基礎～実用化研究まで継目なく支援。
<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/brain/innovation/index.html>
- JST A-step 機能検証フェーズ（目安：3月中旬～5月中旬）
 - ・企業ニーズの解決に資するコア技術の創出を支援。 <https://www.jst.go.jp/mp/index.html>